



プレスリリース

2021年11月1日

報道関係各位

公益財団法人 日本糖尿病財団
日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社
日本イーライリリー株式会社

ベーリンガー／リリー糖尿病研究助成プログラム 助成金交付対象者決定 糖尿病領域での革新的な研究を助成

公益財団法人 日本糖尿病財団（東京都文京区、理事長：岩本安彦 以下「日本糖尿病財団」）と日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社（東京都品川区、代表取締役 医薬事業ユニット統括社長：シャシャンク・デシュパンデ 以下「日本ベーリンガーインゲルハイム」）、日本イーライリリー株式会社（兵庫県神戸市、代表取締役社長：シモーネ・トムセン 以下「日本イーライリリー」）は、本年7月1日から8月31日までの応募期間で募集していたベーリンガー／リリー糖尿病研究助成プログラムの助成金交付対象者が、日本糖尿病財団選考委員会により選考され、理事会において決定されたことをお知らせ致します。

ベーリンガー／リリー糖尿病研究助成プログラムは、糖尿病研究のより一層の発展に貢献することを目的に、日本糖尿病財団と日本ベーリンガーインゲルハイム、日本イーライリリーにより設立されました。募集研究テーマは年度毎に検討され、本年度の募集テーマは、「糖尿病の血管合併症に関する研究（前向き臨床研究、並びに日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社及び日本イーライリリー株式会社の製品に関する臨床研究は除く）」です。

本年度は、全国から寄せられた20件の応募の中から、日本糖尿病財団選考委員会による厳正な審査・選考および、理事会による最終決定の結果、下記6名の研究者が助成金交付対象者として選ばれました。助成金交付対象者には、研究課題1件につき150万円の助成金が交付されます。

第8回(2021年度) ベーリンガー／リリー糖尿病研究助成金交付対象者(五十音順)

氏名	所属・職名	研究課題
川北 恵美	島根大学医学部附属病院医学系研究 病院診療職員 医科医員	レニンアンジオテンシン系阻害薬投与時の血管不全・腎障害発症において潜在的レニン抑制転写因子 Stox1 機能不全が演じる役割の 解明

木内 謙一郎	慶應義塾大学医学部 腎臓内分泌代謝内科 助教	糖尿病における腎臓概日リズムの再編成と 代謝変容の探索
小林 洋輝	日本大学医学部 内科学系腎臓高血圧内分泌内科学分野 専修医	糖尿病性腎症の進展における 新規 BMP 拮抗分子の機能解析
田中 真司	東京大学医学部附属病院 腎臓・内分泌内科 南学研究室 届出研究員	糖尿病性腎臓病における迷走神経刺激の 保護効果の検討
藤島 裕也	大阪大学大学院 医学系研究科 内分泌・代謝内科学 助教	糖尿病性血管障害に対する脂肪細胞特異的 分泌蛋白・アディポネクチンの役割の解明
船本 雅文	徳島大学大学院 医歯薬学研究部・医学域 薬理学分野 助教	糖尿病合併心不全の発症に関与する エピジェネティックな転写制御機構の解明

助成プログラムに関する情報は、日本糖尿病財団のホームページにてご確認ください。<http://www.j-df.or.jp/grant.html>

参考情報

公益財団法人 日本糖尿病財団について

日本糖尿病財団は、平成 3 年 9 月に設立された厚生労働省認可の財団法人です。その後、公益法人改革に伴い、行政庁（内閣府）より公益財団法人の認可を得、平成 25 年 4 月 1 日に公益財団法人に移行しました。糖尿病に関する調査研究の実施及び助成、並びに糖尿病に関する正しい知識の普及・啓発活動の実施及び助成、糖尿病に関する国際交流活動の実施及び助成、糖尿病に関する印刷物の刊行など、さまざまな事業を行い、もって国民の健康の増進に寄与することを目的としています。

ベーリンガーインゲルハイムとイーライリリー・アンド・カンパニーの提携について

2011 年 1 月、ベーリンガーインゲルハイムとイーライリリー・アンド・カンパニーは、糖尿病領域におけるアライアンスを結び、同領域において大型製品に成長することが期待される治療薬候補化合物を中心に協働していくことを発表しました。同アライアンスは、ベーリンガーインゲルハイムが持つ研究開発主導型イノベーションの確かな実績とイーライリリー・アンド・カンパニーが持つ糖尿病領域での革新的な研究、経験、先駆的実績を合わせ、世界的製薬企業である両社の強みを最大限に活用するものです。この提携によって両社は、糖尿病患者ケアへのコミットメントを示し、患者のニーズに応えるべく協力しています。

ベーリンガーインゲルハイムについて

ベーリンガーインゲルハイムは、人と動物の生活を向上させる画期的な医薬品や治療法の開発に取り組んでいます。研究開発主導型の製薬企業として、アンメットメディカルニーズの高い分野において、イノベーションによる価値の創出に日々取り組んでいます。1885 年の創立以来、ベーリンガーインゲルハイムは、株式を公開しない独立した企業形態を維持し、長期的な視点をもって邁進していきます。医療用

医薬品、アニマルヘルスおよびバイオ医薬品受託製造の3つの事業分野において、約52,000人の社員が世界130カ国以上の市場で業務を展開しています。

イーライリリー・アンド・カンパニーの糖尿病事業について

イーライリリー・アンド・カンパニーは1923年に世界で初めてインスリン製剤を開発して以来、糖尿病ケアの分野において常に世界をリードしてきました。現在も、糖尿病をもつ人々やケアを行う人々の様々なニーズに応えることで、この伝統を築いています。研究開発や事業提携、拡大し続ける幅広い医薬品ポートフォリオ、そして、医薬品からサポートプログラムをはじめとする実質的なソリューションを提供し続けることを通じて、世界中の糖尿病をもつ人々の生活の改善に努めます。

日本イーライリリーについて

日本イーライリリー株式会社は、米国イーライリリー・アンド・カンパニーの日本法人です。人々がより長く、より健康で、充実した生活を実現できるよう、革新的な医薬品の開発・製造・輸入・販売を通じ、がん、糖尿病、筋骨格系疾患、中枢神経系疾患、自己免疫疾患、成長障害、疼痛、などの領域で日本の医療に貢献しています。

詳細はウェブサイトをご覧ください。

<http://www.j-df.or.jp/>

(日本糖尿病財団)

<https://www.boehringer-ingenelheim.com>

(ベーリンガーインゲルハイム)

<https://www.boehringer-ingenelheim.jp>

(ベーリンガーインゲルハイムジャパン)

<https://www.lilly.com>

(イーライリリー・アンド・カンパニー)

<https://www.lilly.co.jp>

(日本イーライリリー)